

# ひとりひとりが組合に参加し

## 行動することが大事



### 第52回青年部定期大会

青年部は2月7日、第52回定期大会を開催しました。2007年度経過報告の承認後、大会代議員から活発な討論がなされ、2008年度運動方針が決定しました。個人の力では改善困難な職場の問題もみんなの力で変えられることを信じてあきらめず訴えていくこと、ひとりひとりが組合に参加し行動することが大事です。青年部は今後も職場の声を

大きく機会や楽しい活動の場を設けていきます。大会代議員の発言を紹介します。

【病院職場】

- ・欠員が続いている。時間内に終わらない。病休の人もいる。子育てできるか不安。
- ・ベテランに負担がかかる。2〜3年目の退職者が多い。引継ぎできない。
- ・病院赤字で病床数削減。

【府職場】

- ・入札方式代わり時間がかかる。システムだけが走り仕事進まず。
- ・非正規化、人が足りない。休みがとりにくい。

3月1日は、ビキニデーです。1954年3月1日太平洋ビキニ環礁でアメリカによる水爆実験がおこなわれ、近くで操業していたまぐろ漁船「第5福竜丸」が「死の灰」を浴び、乗組員に甚大な被害をあたえた出来事です。広島、長崎につづきまた日本人が核兵器の犠牲となる事件でした。

### 3・1ビキニデー

## 非核平和運動のさらなる高揚を

日本政府は、このアメリカの核戦略に呼応し自衛隊のインド洋での給油活動の再開、沖縄、岩国での米軍基地の再編強化を放棄し、被爆者の思いを逆撫でするものです。世界の流れは、国連総会でひきつづき核兵器廃絶を要求する決議が圧倒的多数で採択されています。ここに自信と確信をもち、政府・与党がすすめるようとしている憲法改正、被爆国日本の責任、悪、米軍基地再編強化、

らしを守らなければならぬ。逆進行の発言であり、核兵器廃絶運動の足を引っ張る、被爆国日本の責任、悪、米軍基地再編強化、

にみられるように全面協力する立場にたち、核兵器廃絶に向けた運動に背を向けています。また、橋下知事の「核

・橋下知事の話、年寄り切り捨て？患者どうなるのか不安。  
 ・副主査選考や評価結果は正当でない、チームワークが乱れる、声をあげることが大事。  
 ・独法化の話でている。公的から民間に手放しているのか。何か活動しないか。  
 ・子育て中、男性も休みやすい職場環境に。  
 ・メンタルの病休増えている。  
 ・組合は本来出合いの場でもある。楽しい活動も大事。



知事選の奮闘ごううさんでした。遊歩道の記事を読みました。貧困とワーキングプアをなくすためがんばってください。

伊藤育雄さん

例年になく冷え込みの強い昨今です（日光がありがたく太陽に感謝します）。環境問題は一人一人ができることを継続することも大切です。職場も全世界も平和であってほしいと願います。

泉佐野保健所  
浅野貴美子さん

## 児童福祉の現状 21

健康福祉支部相談所分會書記長 神夏磯 保

半から高校生年齢まで幅広く、かつ、保護理由が虐待・非行等多様な混合型であり、しかも、保護中に家庭引取り施設入所等が決定していく、という児童にとつてもストレスフルな状態に置かれている場です。

昨今の児童の置かれた社会情勢を反映して、虐待ケースの入所が突出しています。

一時保護所職員は、不安な気持ちで入所してくる児童に対して、まず安心してケアしていく姿勢を持つています。

しかし、ソフト面、ハード面での多くの課題が山積しており、その課題を声なき児童に代わって改善していくことも大変重要と考えています。

厚生労働省自ら打ち出している「小規模施設化」と逆行する「1カ所での大規模化」の問題、さらに、旧中央子ども家庭センターの相談部門の廃止（堺市の政令指定都市によるもの）後の建物を付け焼き刃で改修したことで非機能的な問題、このこと等から生じる人員体制の問題等課題いっぱいあります。

特に諸課題から発生する人員問題では、

- ① 幼児部門（定員9名）の午後の複数体制
- ② 午前中の学習の小学生と中学生の全日分離体制
- ③ 個別棟（男児3名・女児3名）の同性介護体制
- ④ 人手不足から生じる行事の縮小問題
- ⑤ 一時保護機能として重要な「行動観察」の記録時間の未保障問題
- ⑥ 調理師不足による食事内容のサービス低下問題

等があり、不安な気持ちで入所してくる児童の声を代弁して、早急な人員体制強化を図る必要があります。

皆さんがたからの陰にご支援お願いします。

## 不安な気持ちの児童に安心感を

人間関係上、受け入れられたという実感の乏しい児童が多いだけに、問題を起こしつつも職員が向き合っている姿勢に感じ取るものがあるのではありません（退所後、一時保護所職員に会いたいという児童が多い）。

一時保護所職員は、一時的な保護機関ながら児童にとって大変重要な期間を過ごす場として認識